

食品ロスの削減、生活困窮者への食品支援の取り組み 39トンの農産物をフードバンクへ寄贈(2019年度)

コープデリ連合会（本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋 敏夫、会員生協：関東信越の7生協）は、物流センターで予備に少量確保している農産品や流通段階で少し袋が破けたお米などを、食品ロスとならないようにフードバンクへ寄贈しています。2019年度(2019年4月～2020年3月)は、合計39トン(39,186kg)の農産品をフードバンクに寄贈しました。

寄贈した商品は、フードバンクを通じて生活困窮者、福祉施設、子ども食堂などに提供されています。

新型コロナウイルス感染拡大防止を受けた学校の一斉休校、雇用の中断や解雇などに伴い、子育て世帯や生活困窮者への支援がより求められています。コープデリ連合会は、今後も積極的にフードバンクと協力し、食品ロスの削減を進めてまいります。

■果実、野菜の寄贈実績(2019年度)

寄贈先(フードバンク)	寄贈量
セカンドハーベスト・ジャパン（本部：東京都台東区）	22,939kg（果実：6,958kg、野菜：15,981kg）
フードバンク北関東（本部：群馬県館林市）	7,084kg（果実：1,288kg、野菜：5,796kg）
合計	30,023kg（果実：8,246kg、野菜：21,777kg）

■お米の寄贈実績(2019年度)

寄贈先(フードバンク)	寄贈量
セカンドハーベスト・ジャパン（本部：東京都台東区）	6,696kg
フードバンクちば（本部：千葉県千葉市）	1,336kg
フードバンクふなばし（本部：千葉県船橋市）	1,131kg
合計	9,163kg

*お米、果実、野菜の合計 39 トン (39,186kg)



コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。 ※詳しくはこちら <https://sustainability.coopdeli.coop/>

《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13 【総事業高】5,533億円（会員生協計・2018年度）
 【理事長】土屋 敏夫（つちや としお） 【ホームページ】<https://www.coopnet.jp/>
 【組合員数】508万人（2020年4月20日現在）
 【会員生協】コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ